

東洋大学ライフデザイン学部 健康スポーツ学科ニュースレター第6号 2013年8月9日発行

保健体育・養護教諭志望者セミナーを開催しました

7月27日(土)に健康スポーツ学科の卒業生であり、埼玉県の中学校で保健体育、養護教諭とされている羽廣雅也先生(2012年3月卒)、石川梨絵先生(2013年3月卒)のお二人をお招きして朝霞キャンパスキャリア支援室の西田康子氏(元埼玉県小学校校長)をコーディネーターに在学生向けセミナーを開催しました。先輩からは普段の一日のスケジュールや仕事の様子を担任クラスの教室や保健室の写真を交えながら紹介して頂きました。教員となって感じる、やりがい、大変だけど感じる楽しさ、さらには生徒指導に一貫性が大事だと感じた教員ならではの難しさについて例を挙げながらお話し頂きました。また、学生時代の教員採用試験に向けてどのような勉強をしていच्छゃったのかを実際に使ったノートを持参して見せて下さいました。在学生はノートをじっくり見ながらとても大きな刺激を受けたようです。また、面接試験の練習、論文対策にと毎日のようにキャリア支援室に伺い、受けたアドバイスがとても助けになったとのことでした。机に向かう勉強だけではなく、塾や接客のアルバイトも人との接し方、コミュニケーションの取り方を学ぶ良い機会となったそうです。東洋大学の学生時代は教職を目指す仲間がいると同時に一般企業を目指す人、公務員を目指す人など



多様に渡っていたことが違った考え方、視点を体験できて、今考えると生徒、保護者との関係を構築するために役に立っているそうです。順にお二人のお話を伺った後に保健体育、養護教諭の志望者がそれぞれ分かれて先輩を囲んでリラックスしたなか直に質問する時間を取りました。大変質問が多く、トータル4時間にもおよぶセミナーとなり、在学生には普段の授業だけでは聞けない話を学科の先輩から伺い自分のキャリアパスを描く上でとても良い機会となりました。

セミナーに参加した在学生からは「学生時代の生活や勉強方法、今の仕事の様子についてなど、幅広いお話を聞くことができました。現場でのお仕事はやはり大変なことがいっぱいあるのだと思います。しかし、それ以上に生徒がかわいい、一緒に働けてうれしい、とおっしゃる先生方の明るい姿を見てさらに夢を実現させたいと強く思いました。まずは教員採用試験に合格し、私も先輩方のような素敵な先生になりたいです。」「少人数だったので自分が聞きたいことや気になっていたことを、ストレートに現職の先輩に聞いて良かったです!



「やらないきゃ...」という気持ちから「やる!」という気持ちに変えるきっかけになりました。)、という感想が寄せられました。

神野 宏司